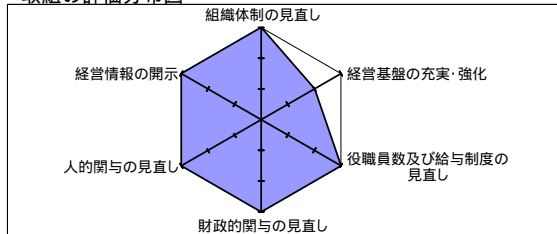


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	ある程度達成している。
役職員数及び給与制度の見直し	十分達成している
財政的関与の見直し	十分達成している
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	十分達成している

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: 十分達成している】

平成17年4月1日に松山市観光協会と松山コンベンションビューローの統合を行い両団体の共通目的である外客誘致の効果的実施を図る体制作りを行った。特にコンベンション誘致を推進するため民間企業から1名の誘致担当職員の人受と誘致専門委員1名の採用を行った。平成18年4月1日付で管理職の見直しを行い事務局次長の職を廃止し、当面の組織体制の見直しは完了している。

【19年度2次評価に対する対応】

更なる民間のノウハウ等を活用した業務を行う為、適宜企業関係者からなる委員会を開催している。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: ある程度達成している。】

基本財産の運用先の検討や賛助会員の開拓を行っているが、利息収入や会費収入では運営できない現状である。乗車券等の販売手数料による手数料収入、物産展売上手数料収入に加え、18年度からホームページ等における広告料など収入の確保に努めているが、運営資金の不足分については松山市の補助金に依存している。

【19年度2次評価に対する対応】

H20.4月JR観光案内所をアウトソーシングし、管理コストの縮減を図った。H21年秋のスペシャルドラマ放映を観光客誘致の絶好の機会ととらえ、H22年度観光交流人口600万人達成に向け、受入体制の強化、PR活動に努める。

(3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: 十分達成している】

役員数については、統合を検討していく時点において指導官庁である四国運輸局の指導のもと見直しを行っているため適正数と考えている。給与制度については平成17年度に松山市職員給与制度見直しに準じ協会職員の給与制度の見直しを行った。

【19年度2次評価に対する対応】

H19年度2名の退職者を機にJR案内所のアウトソーシングを実施するなど適正な職員数を配置している。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

県の財政関与は引き上げることが実質的に困難な出捐金のみであり、他に補助金等はない。

【19年度2次評価に対する対応】

当法人の事業は県全体への波及効果があるため県・市・商工会と連携した取組みを行っている。

(2) 人的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

「公益法人の設立基準及び指導監督基準」に基づき事業計画、事業予算、事業報告、決算報告、役員名簿、寄付行為等必要なものは窓口で備えるとともに、協会ホームページにおいても掲載している。

4 総合的評価

経営、組織等について主導的な立場にある松山市の指導監督を主に受けつつ、事業や組織の見直し、経費節減などに取り組むとともに、自主事業収入の拡大を図り経営基盤の充実・強化を図っていく。